

2021年1月14日

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社

マクセルホールディングス株式会社

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社とマクセル株式会社が 非接触型の新事業における共同開発契約を締結

高輝度、高画質な非接触空中ディスプレイをベースにさまざまな分野で協業

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社(代表取締役 取締役社長:八木 鉄也/以下、日立オムロンターミナルソリューションズ)と、マクセルホールディングス株式会社の子会社であるマクセル株式会社(代表取締役 取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、日立オムロンターミナルソリューションズが長年にわたり製造・販売を行ってきた現金自動取引装置(ATM)をはじめとする自動機関連技術と、マクセルがプロジェクターや映像表示装置の開発・製造で長年培ってきた光学技術および映像処理技術を融合させ、新しい価値を提供する商品創出のため、このたび共同開発基本契約を締結しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、リモート、タッチレス、セルフオペレーションなどの非接触型ソリューションが注目されています。ウィズコロナ時代における行動の変容はニューノーマルとして今後定着することが想定されます。

日立オムロンターミナルソリューションズとマクセルは非接触型の新商品創出を共同で進めることに合意し、これまで個別に開発していた非接触空中ディスプレイの技術とリソースを集中させ、高輝度、高画質な非接触空中ディスプレイの共同開発を開始しました。本ディスプレイ上での操作は、非接触でありながらリアルなコミュニケーションを実現します。今後、本ディスプレイを搭載する機器の開発・製品化を進めていきます。



日立オムロンターミナルソリューションズの自動機
(左: ATM、右: 昨年 10 月に導入開始した空中入力装置を搭載した
自動受付精算機)



マクセルが開発した高輝度空中ディスプレイ
(表示イメージ)

さらに、日立オムロンターミナルソリューションズが自動機で培った UI(ユーザーインターフェース)技術と、マクセルの透明スクリーン技術を活用した接客案内を組み合わせる新たなサービスを提供する製品の開発を計画しています。

また、日立オムロンターミナルソリューションズの人物撮影用カメラにマクセル独自の高視認化および高演色画像処理技術を搭載し、カメラ映像の撮影画質の向上を図ります。この技術は、顔認識での精度向上も視野に入れていきます。

今後、日立オムロンターミナルソリューションズとマクセルは、両社の持つ技術やノウハウを活かし、さまざまな分野でお客様のニーズに応える製品を開発することで、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

■日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社 概要

設 立 :2004年10月

所 在 地 :東京都品川区大崎一丁目6番3号

代 表 者 :代表取締役 取締役社長 八木 鉄也

事 業 内 容 :ATM等の情報機器、メカトロ機器などの企画、開発、設計、製造、販売、およびサービス、ソリューションの提供。

ホームページ :<https://www.hitachi-omron-ts.co.jp/>

■マクセル株式会社 概要

設 立 :2017年4月

所 在 地 :東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号

京都本社 京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1

代 表 者 :代表取締役 取締役社長 中村 啓次

事 業 内 容 :エネルギー、産業用部材料および電器・コンシューマ製品の製造・販売。
光学技術・画像処理技術を基に、自動車・産業分野への取り組みを強化。

ホームページ :<https://www.maxell.co.jp/>

■商標

記載されている名称、ロゴは、日立オムロンターミナルソリューションズ、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

- 日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社 コア技術開発センタ [担当:魚住]

お問い合わせフォーム:

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-omron-ts/general/jp/form.jsp>

- マクセル株式会社 光エレクトロニクス事業本部

お問い合わせフォーム:

https://www.maxell.co.jp/inquiry/maxell/ja/form.jsp?f=biz&q=hud_m_ja_biz

以上

ニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。

予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
